

愛兒の爲めに語る (承前)

——或る母の會に於ての講演を抄録して——

中 村 楠 雄

二八

□
一本帯を買ふにも、なるべく柄行きのよいもの色彩の美はしいものをと考へない方はありますまい。これは何故かと、申しますと誰れにも美的情調が内在してゐるからであります。しかもこの情調の豊かな人程其の帯の選定も上品で立派で、美しく、つまり上手な筈であります。こんな類の人は氣のさいた人だ、上品な方だ、つくりがうまいなどと、ほめられる人であります。以上はほんの一例でありますが、つまり美的情調の豊かな人程男にせよ女にせよ其の身の廻りでも家内でも、美

はしく整然と高雅にととのへられるに違ひありません。従つてこうした人は起居動作も自ら奥ゆかしく、人をして深みを感じせしめ尊敬の念を起さしめるに違ひありません。私達は出来るなら私達の愛兒をしてかくの如く品高く恵まれたる心の持主に育てあげたいものであります。私達は私達の愛兒の幸福なる生活の爲めに、レベル高き生存であらしめる爲めに、この美はしい心情の啓培に細心の注意を加へてやりたいものと存じます。

さてそれではさうあらしめる爲めに、どんな風に注意をしたらよいのでせう。どんな事柄に氣を

つけたらよいのでせうと云ふ事になります。何といつても其の両親が廣く高い趣味を持つてゐるに越した事はありません。かくてこそ本當に圓滿に其の心情の陶冶が出来る事と信じます。けれども若しこれが萬人一様に望めない所と致しますならば、少なくとも子供と共に美はしい生活を仕て行かうとの努力、熱心を持ちたいと思ひます。

では今少し具體的に申上て見ますが、以上申上ました様な教育を致しますのには、小さい時から随分色々の方面に注意せねばならぬのであります。が、例へば良い繪畫良い音樂等に親しませる事も誠に大切でなからうかと思ひます。こうする事によつて高尚なこれらの藝術を理解し鑑賞し得る素地が、漸時に培かはれる事と考へます。

それではさう云ふ機會があるだらうかといふ事になります。が、まづ繪畫の方について考へまして、帝展を始めとして院展、二科會等々大小の展

覽會が都鄙分に應じて催されますが、それ等をなると見せてやる事も一方法でせう。また家庭の事情に應じてはよい繪を多少なりとも集めてやれませう、或は繪の先生に頼んで指導して頂く事も出来ませう、名畫の寫眞版やコロタイプ版なども相當役立ちませう。心をそこにこめて油斷なく致しますなら、機會は案外あるのかも分りませう。こゝまで至らなくても例へば一冊の雜誌、繪本を買つて與へるにしても、惡い色彩や下品な繪のものは避ける位の心づかひがあつてほしいものです。一般的に申しますなら存外こんな點に不用意な親達が多いのじゃないでせうか。

音樂にしても有名な方の演奏會などへは、つとめてつれて行つてやりたいものです。冗費を節し子供の教育のためにのみ惜まらず金をつかつてやりたいものです。見榮を張つたり單なる驕樂のためのみ度々こらした場所に出る事は、これは全

く無用な事です。けれども誠に純真な氣持ちで、其の子の教育のために、自分の子を高くするため、人間完成のためにといふ念願からなら、實に貴い仕事ではないでせうか、

此頃蓄音機とかラヂオとかがどしどし家庭に入りこんで參りました。これらも音楽に親しませる上に有力な武器であり、いゝ機會を與へて呉れるものと思ひます。けれども一面親のよき注意の要を大いに感じます。あのつまらぬレコードを取り巻いて、親も口ずさみ子もまねをするといつた光景を眼にすると、子供の爲めに寒心に堪えぬ氣持ちを感じます。私のお預りしてゐた子供の中にも幼稚園で俗惡な歌を平氣で歌ふといつたものが、發見する事がありました。「どこで習つた」と尋ねますと「うちの蓄音機にあります」との答を往々得るのでありました。聞かない様で聞いて居り、覺えない様で覺えて居るこの時代の子供こそ本當

に油斷がならないのであります。

それでお子達の居なさる御家庭で、若しレコードを買ひになる様な場合には、價は高くとも、十枚お買になる所を半分にしても、但しは一枚にしても、藝術的氣品の高い何回聞いても味ひのある。幼児の教育上差支のないものをお具へ願ひたいと存じます。

これには高尚な西洋音楽などがよろしいのでないのかと思ひます。子供だからとて低級なものも與へるのがよくないのであります。「子供の遊ばせ方」といふ書物があります。この中にも

或る子供が蓄音機をさく時は、常に調子の高い名曲をさかされてゐました。時偲賑やかな歌劇（帝劇女優の入れたもの）をさかされた時に、忽ち不平を起して言ふには「どうしてあんないやなのをお買ひになつたのでせう」と。この言葉から推しても、子供の耳には確かに聞きわけける力を持

そつてゐるのであります。

と書かれてゐます。これは間違ひのない事であると信じます。

尙ついでにこのレコードの撰擇に就て考へたいのは、これは少し無理な困難な注文であるかと思ひますが、子供を持たぬ一般家庭の方とに對しても、同じ要求を致したいのであります。つまり吾々の家庭は社會の一單位として、私共は社會の一員として公の生活をしてゐる意味から、お互は互の社會をよくして行かねばならぬ責任上からさう申上げたいのであります。

これに就て一つの實例を申上ますが、私はかつて或る場所に住んでゐましたが、其の時某家に蓄音機を購入したのであります。それが傳染して引續いて近隣二三の家も買ったのであります。所がそれらの家に購入されたレコードであります。其の中には一寸した洋樂類もありますが、大體は

各種の俗歌、活動寫眞の説明等であります。すると何時か知らぬ間に、近所邊の子供達は遊びの間にも、特に太い聲を出して、映畫説明のまねをしたり、或いは道傍のわきの小高い所にかはるがはる立つて俗歌の獨唱や齊唱をする様に（學藝會の様に）なりました。其の上手な事うまい事には感心させられましたが、まだ學校へも行かない様な子供までまじつて、意味も分らずにあゝしたつたらぬ下卑た歌などを歌つてゐる事には本當に考へさせられました。

さういふわけで自分の家には子供はないからかまはぬなどと考へにならないで、何分外まで聞えて行くものでありますのでどうか小さい子供達のために、世の中のために國へのために、こうした點にまで美はしい心づかひを煩はしたいと存じます。